もくじ

もくじ 1
はじめに 2

1 HD DVD-ROM ドライブモデルについて 4
① 前面図 4
② HD DVD に関する大切なお知らせ 4

2 CD や DVD、HD DVD を使う －ドライブ－ 8
① 使えるメディアを確認しよう 8
② 使える CD を確認しよう 9
③ 使える DVD を確認しよう 10
④ 使える HD DVD を確認しよう 12
⑤ CD ／ DVD ／ HD DVD を使うとき（セット） 12
⑥ CD ／ DVD ／ HD DVD を使い終わったとき（取り出し） 13

3 HD DVD を観る 15
① InterVideo WinDVD HD を起動する 16
② InterVideo WinDVD HD を使う 18
③ パソコンを HD DVD プレーヤ代わりに使う 21
④ 状況にあわせて画質を調整する 24

4 Q&A 集 25

5 技術基準適合について 27

はじめに

本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、同梱の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。必ずお読みになり、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

本書では、HD DVD-ROM ドライブの使いかたについて説明しています。本製品に用意されている取扱説明書と、あわせてお読みください。

本書は、次の決まりに従って書かれています。

記号の意味

⚠危 険	"取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと"を示します。
⚠警 告	"取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定されること"を示します。
⚠注 意	"取扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定されること"を示します。
お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
メモ	知っていると便利な内容を示します。
役立つ操作集	知っていると役に立つ操作を示します。
参照	このマニュアルや他のマニュアルへの参照先を示します。 このマニュアルへの参照の場合…「　」 他のマニュアルへの参照の場合…『　』 おたすけナビ、 できる dynabook への参照の場合…《　》 おたすけナビにはさまざまな情報が記載されています。

＊1　重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2　傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
＊3　物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

用語について

本書では、次のように定義します。

システム
特に説明がない場合は、使用しているオペレーティングシステム（OS）を示します。本製品のシステムはWindows XP です。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト
アプリケーションソフトウェアを示します。

Windows XP
特に説明がない場合は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版を示します。

MS-IME
Microsoft® IME 2003／ナチュラル インプット 2003を示します。

おたすけナビ
パソコン上で見ることのできる、電子マニュアルを示します。デスクトップ上の［おたすけナビ］アイコンをダブルクリックして起動します。

ドライブ
HD DVD-ROM ドライブを示します。

参照 詳細について
「2 CD や DVD、HD DVD を使う」

HD DVD-ROM ドライブモデル
HD DVD-ROM ドライブが内蔵されているモデルを示します。
本製品は、HD DVD-ROM ドライブモデルです。

DVD スーパーマルチドライブモデル
DVD スーパーマルチドライブが内蔵されているモデルを示します。

記載について

・記載内容によっては、一部のモデルにのみ該当する項目があります。その場合は、「用語について」のモデル分けに準じて、「＊＊＊＊モデルのみ」と注記します。
・インターネット接続については、内蔵モデムを使用した接続を前提に説明しています。
・アプリケーションについては、本製品にプレインストールまたは同梱の CD ／ DVD からインストールしたバージョンを使用することを前提に説明しています。
・本書に記載している画面やイラストは一部省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。
・本書をはじめとする取扱説明書では、コントロールパネルの操作方法についてカテゴリ表示を前提に記載しています。クラシック表示になっている場合は、カテゴリ表示に切り替えてから操作説明を確認してください。

参照 カテゴリ表示とクラシック表示 《おたすけナビ（検索）：コントロールパネルの使いかた》

Trademarks

・Microsoft、Windows、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
・BeatJam、CyberSupport は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
・BeatJam、CyberSupport、おたすけナビは、株式会社ジャストシステムの著作物であり、BeatJam、CyberSupport、おたすけナビにかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
・InterVideo、WinDVD、WinDVD HD、WinDVD Creator、DVD Copy FileToDVD は InterVideo, Inc. の登録商標または商標です。
・おたすけナビは、株式会社東芝の商標です。
・「できる」は、株式会社インプレスの登録商標です。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

リリース情報について

「リリース情報」には、本製品を使用するうえでの注意事項などが記述されています。必ずお読みください。次の操作を行うと表示されます。

① ［スタート］→［すべてのプログラム］→［はじめに］→［リリース情報］をクリックする

お願い

・本製品の内蔵ハードディスクにインストールされている、または同梱の CD ／ DVD からインストールしたシステム（OS）、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。
・Windows 標準のシステムツールまたは『セットアップガイド』に記載している手順以外の方法で、パーティションを変更・削除・追加しないでください。ソフトウェアの領域を壊すおそれがあります。
・内蔵ハードディスクにインストールされている、または同梱の CD ／ DVD からインストールしたシステム（OS）、アプリケーションは、本製品でのみ利用できます。
・購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。
・ご使用の際は必ず本書をはじめとする取扱説明書と『エンドユーザ使用許諾契約書』および『ソフトウェアに関する注意事項』をお読みください。
・アプリケーション起動時に使用許諾書が表示された場合は、内容を確認し、同意してください。使用許諾書に同意しないと、アプリケーションを使用することはできません。一部のアプリケーションでは、一度使用許諾書に同意すると、以降起動時に使用許諾書は表示されませんが、リカバリを行った場合には使用許諾書が表示されます。

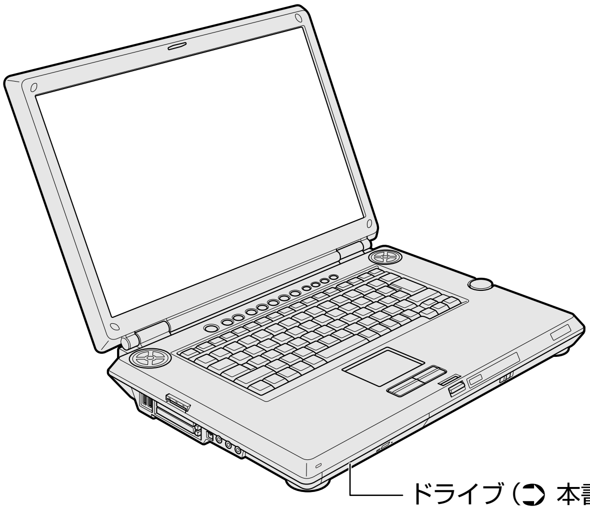
1 HD DVD-ROM ドライブモデルについて

本製品には、HD DVD-ROM ドライブが 1 台内蔵されています。
同梱のマニュアル『セットアップガイド』、『活用ガイド』、『オーディオ＆ビジュアルガイド』、《おたすけナビ》は、DVD スーパーマルチドライブが内蔵されているモデルについて説明していますが、本製品には該当しません。
各マニュアルの DVD スーパーマルチドライブに関する部分を、本書の説明に読み換えてください。

① 前面図

HD DVD-ROM ドライブは、パソコン本体前面に内蔵されています。

＊『活用ガイド 1 章 1- ① 前面図』で説明しているドライブの外観を、次の内容に読み換えてください。



ドライブ（ 本書P.8）
ドライブには、CD／DVD／HD DVDをセットします。

② HD DVD に関する大切なお知らせ

このたびは、dynabook Qosmio G30/6 シリーズをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品を楽しんでいただくために、お客様にご理解いただきたいお知らせを記載しましたので、必ずお読みください。
また、本書に記載されていること以外にも、HD DVD に関するお知らせや HD DVD のご使用にあたっての注意制限事項などがありますので、別紙の『HD DVD のご使用にあたって』をよくお読みください。

HD DVD とは？

DVD フォーラムが承認した次世代 DVD ディスクです。

HD DVD とは、世界の 230 社以上が加盟する DVD 規格の世界標準団体「DVD フォーラム」が承認した次世代 DVD ディスクのことで、HD（ハイビジョン）クオリティの高画質性能を備えています。HD DVD の再生専用ディスクである HD DVD-ROM（片面）には、片面 2 層 30GB（ギガバイト）と片面 1 層 15GB の 2 種類があります。これによって、映画 1 本分の映像が HD DVD ディスク 1 枚に収めることができます。

ハリウッドの期待にも応える高画質メディアです。

映画の本場ハリウッドでは、DVD ソフトの出荷が急伸し、すでに DVD の売上げが劇場公開収入を超えるほどになっています。高画質で長時間記録ができる HD DVD は、より美しく付加価値のあるパッケージコンテンツ制作を目指すハリウッドからの様々なニーズにも対応。コピープロテクションやディスク製造体制、生産コストなどの点にも確かな答えを提供することで、高い評価と支持を得ています。HD クオリティで制作された映画コンテンツなどが HD DVD パッケージで提供されることで、家庭でも映画館のスクリーンと同じように、迫力ある美しい映像を楽しむことができるようになります。

お願い

- HD DVD は、新しい規格で今後も新しい機能が追加される可能性があります。そのために、ご購入後もソフトウェアのバージョンアップなどが伴うことをご理解ください。お客様に、適時、バージョンアップのご案内を差し上げるためにも、是非ともユーザー登録をされるようお願い申し上げます。
- この商品は、従来の DVD、CD を再生できますが、ソフトによっては再生できない場合もあることをご理解ください。また、ブルーレイディスク規格のソフトは再生できませんので、ご注意ください。
- HD DVD は新技術を利用した新規格です。ディスク、その他のデジタル機器との接続、その他の互換性、動作に何らかの問題が生じる可能性があります。HD DVD-ROM ロゴは、ドライブが HD DVD の物理規格に対応していることを表すものであり、HD DVD ビデオの規格に対応していることを表すものではありません。本機は、DVD フォーラムの規格の定める HD DVD のビデオ規格のアドバンスト機能のうち、ピクチャーインピクチャー、ネットワークダウンロード等の機能には対応しておりません。HD DVD のコンテンツによっては、画面の動きがスムーズでなくなったり、パフォーマンスが落ちる場合があります。
- 高ビットレートのコンテンツを再生する場合には、コマ落ちが発生したり、パフォーマンスが低下する場合があります。
- HD DVD を外部ディスプレイでご覧になるには、HDCP 対応の HDMI™ 入力端子または DVI 入力のあるディスプレイが必要です。
- HD DVD を再生する場合には、必ず AC アダプタを接続してください。
- HD DVD 再生時は、CPU の能力を再生に集中させるため、必ずその他のアプリケーションを全て終了させてください。
- QosmioPlayer は HD DVD 再生機能には対応しておりません。
- Dolby Digital audio enhancements は、Microsoft® Windows® の operating system にのみ対応しています。
  48kHz 以上の高サンプリングレートのコンテンツは、内蔵スピーカ、ヘッドホン出力端子からの出力または光デジタルオーディオ出力端子（S/PDIF）からの出力で Dolby Virtualizer を使用した場合には、ダウンサンプリングされます。
- 本機の HD DVD 再生機能は次世代著作権保護技術 AACS（Advanced Access Content System）に対応しています。HD DVD を継続的にお楽しみいただくためには、本機に含まれている AACS キーの更新が必要となります。
  東芝はご購入から 5 年間、キーの更新を無償で提供いたしますが、その後は InterVideo 社の定める条件に基づきキーの更新が提供されます。
  なお、更新の際にはインターネット接続が必要です。

HD DVD の特長

より高画質なコンテンツを楽しむことができます。

HD DVD の特長は、大容量での高密度記録を活かした、高画質の映画やライブなどのパッケージコンテンツを楽しめることです。この dynabook Qosmio G30/6 シリーズでは、高色純度・高輝度・高画質の Clear SuperView 液晶（WUXGA：1920 × 1200 ピクセル）を搭載し、走査線数 1125 本の高精細な HD（ハイビジョン）映像を本来の解像度で表示できるので、HD DVD が再現するリアルで臨場感あふれる映像エンターテイメントを体感できます。

現行 DVD が再生できる HD DVD-ROM ドライブだから、お手持ちの DVD、CD ライブラリを楽しむこともできます。

HD DVD と現行 DVD が同じディスク構造であるという特長は、再生機器においても互換性という大きなメリットを発揮します。読み取り用レーザー光の照射距離が同じであるため、青色レーザー／赤色レーザーを切り換えるだけで、HD DVD と現行 DVD のどちらも再生することができます。これにより、録りためた DVD ライブラリや DVD ソフト、さらには音楽 CD も、HD DVD-ROM ドライブで再生して楽しむことができます。

HD DVD はハイビジョン画質での再生に対応するだけでなく、再生中に操作メニューやチャプター画面を表示することができます。＊1

＊1 操作メニューやチャプター画面を表示しながら、HD DVD を再生すると、画像がコマ落ちするおそれがあります。
　また、使用する HD DVD ビデオディスクのタイトルによっても、画像がコマ落ちする場合があります。

下記に示す仕様・機能については、HD DVD 規格で将来実現される可能性がある仕様・機能を示すもので、これらの仕様・機能は、dynabook Qosmio G30/6 シリーズ HD DVD-ROM ドライブモデルでは使用できません。
また、HD DVD のソフト側で対応している必要があります。詳細についてはそれぞれ HD DVD ソフトのカタログなどをご覧ください。
あらかじめご了承願います。

- HD DVD 本編再生中に別のサブ映像を重ねて表示する
  映画の本編再生中に監督や俳優の解説、メイキング映像や予告編などの特典映像を観ることができます。
- インタラクティブ（双方向性）機能を使って、オンラインでショッピング
  インターネットと接続して、映像や音楽の関連商品を購入できます。
- ゲームを楽しむ

HD DVD の技術

HD DVD には、DVD で培った技術が活かされています。

安定した品質と供給によって市場で高い評価を得ている DVD の進化形にあたる HD DVD は、ディスク構造も現行 DVD と同じ直径 12cm、厚さ 0.6mm の基板の 2 枚貼合わせ構造。これまで DVD で培ってきた様々な技術がディスク製造やハード機器製造の面でも活かされており、高い互換性を生み出しています。

現行の DVD-ROM と HD DVD-ROM の規格比較

	DVD-ROM（再生専用）	HD DVD-ROM（再生専用）
ディスク直径	12cm	12cm
ディスク構造	0.6mm x 2枚	0.6mm x 2枚
容量（片面1層） （片面2層）	4.7GB 8.5GB	15GB 30GB
再生時間*1	4.7GB、SD解像度：132分 8.5GB、SD解像度：238分	15GB、HD解像度：約4時間 30GB、HD解像度：約8時間
レーザー波長	650nm（赤色レーザー）	405nm（青色レーザー）
転送レート*2	11.08Mbps	36.55Mbps

＊1　収録時間は適用されるデータ転送速度により異なります。
＊2　表示の数値は、理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

高密度記録を実現する青色レーザーダイオード。

HD DVD の読み取りには、現行 DVD で使用している赤色レーザーよりも短波長で、トラック間隔が短く高密度での記録が可能な青色レーザーを採用。同じ構造のディスクでも、DVD4.7GB（片面 1 層）の約 6.2 倍にあたる 30GB（HD DVD-ROM 片面 2 層）の大容量記録を実現しています。

36Mbps の高ビットレート。

デジタルテレビ放送の転送レートは最大 24Mbps です。これに対し HD DVD は最大 36.55Mbps という高転送レートを実現しているので、高精細な画質で楽しむことができます。

HD DVD のメディアについて

HD DVD のメディアには、下記のように CD ／ DVD と同様に読み取り専用型と記録型の規格があります。ただし、この製品では使えないメディアもありますので、本書「2 CD や DVD、HD DVD を使う」の内容をよくご確認のうえ、ご使用ください。

HD DVD ビデオディスク　：映像再生用です。映画などが収録されています。
HD DVD-ROM　：読み取り専用のメディアです。
HD DVD-R　：1 回だけ書き込みが出来る記録型のメディアです。
HD DVD-RW　：繰り返して書き込みや消去が出来る AV 用途向け記録型のメディアです。
HD DVD-RAM　：繰り返して書き込みや消去が出来る PC 用途向け記録型のメディアです。

● メディアの構造と記録容量

記録面	記録層の構造	記録容量
片面1層ディスク	HD DVDの記録層のみ	15GB
片面2層ディスク	HD DVDの記録層のみ	30GB
両面2層ディスク	HD DVDの記録層のみ	30GB
両面4層ディスク	HD DVDの記録層のみ	60GB

HD DVD（ツインフォーマットディスク）：HD DVD と DVD の両方の記録層を持っています。

● メディアの構造と記録容量

記録面	記録層の構造	記録容量
片面2層ディスク	HD DVDの記録層	15GB
	DVDの記録層	4.7GB

2

CD や DVD、HD DVD を使う

− ドライブ −

＊『活用ガイド 1 章 3 CD や DVD を使う』を、次の内容に読み換えてください。

本製品には、HD DVD-ROM ドライブ が 1 台内蔵されています。
ドライブには次のマークが入っています。

＊ マークの位置や並び順は異なる場合があります。

HD DVD の読み出し機能と、DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R＊1、DVD+RW、DVD+R＊2、CD-RW、CD-R の読み出し／書き込み機能を搭載したドライブです。

＊1 本書では、「DVD-R」と記載している場合、特に書き分けのある場合を除き、DVD-R DL（Dual Layer DVD-R）を含みます。
＊2 本書では、「DVD+R」と記載している場合、特に書き分けのある場合を除き、DVD+R DL（DVD+R Double Layer）を含みます。

『安心してお使いいただくために』に、CD ／ DVD ／ HD DVD を使用するときに守ってほしいことが記述されています。
CD ／ DVD ／ HD DVD を使用する場合は、あらかじめその記述をよく読んで、必ず指示を守ってください。
HD DVD-ROM ドライブ、HD DVD メディアについては、『安心してお使いいただくために』に記述されている DVD ドライブ、DVD メディアについてと同様です。

CD ／ DVD ／ HD DVD の取り扱いとお手入れについては『セットアップガイド 6 章 3 日常の取り扱いとお手入れ』を確認してください。HD DVD については CD ／ DVD の説明と同様です。

お願い DVD-Video の再生にあたって

- DVD の再生は「WinDVD」を使用してください。「WinDVD HD」は HD DVD 再生専用のため、DVD を再生できません。
- DVD-Video 再生時は、なるべく AC アダプタを接続してください。省電力機能が働くと、スムーズな再生ができない場合があります。バッテリ駆動で再生する場合は「東芝省電力」で「DVD 再生」プロファイルに設定してください。
- 使用する DVD ディスクのタイトルによっては、コマ落ちする場合があります。
- Region（リージョン）コードは 4 回まで変更できますが、通常は出荷時のままご利用ください。出荷時の状態では、Region コードが「2」に設定されておりますので、Region コードが「2」または「ALL」の DVD-Video をご使用ください。

お願い 地上デジタル放送について

- 地上デジタル放送は、CD ／ DVD メディアには、直接録画できません。また、地上デジタル放送の録画データは、バックアップをとることができません。

参照 詳細について 『オーディオ＆ビジュアルガイド』

① 使えるメディアを確認しよう

使用するメディアによっては、読み出しができない場合があります。

○：使用できる　－：使用できない

	読み出し	書き込み回数
CD-R	○	1 回
CD-RW	○	繰り返し書き換え可能＊1
DVD-R＊3	○＊2	1 回
DVD-RW	○	繰り返し書き換え可能＊1
DVD+R	○＊2	1 回
DVD+RW	○	繰り返し書き換え可能＊1
DVD-RAM	○	繰り返し書き換え可能＊1
HD DVD-ROM	○	－

＊1 実際に書き換えできる回数は、メディアの状態や書き込み方法により異なります。
＊2 メディアの状態や書き込み方法により、読み出しできない場合があります。
＊3 DVD-R DL の場合、追記データの書き込み／読み出しはできません。

メモ

- メディアにデータを書き込むとき、メディアの状態やデータの内容、またはパソコンの使用環境によって、実行速度は異なります。

使用できるアプリケーション

読み出し／書き込みに使用できる、本製品に添付のアプリケーションは次のとおりです。

【 HD DVD ビデオディスクを再生する 】

- InterVideo WinDVD HD for TOSHIBA（インタービデオ ウィンディーブイディーエイチディー フォー トウシバ）

参照 「3 HD DVD を観る」

【 DVD-Video を再生する 】

- InterVideo WinDVD 5 for TOSHIBA（インタービデオ ウィンディーブイディーファイブ フォー トウシバ）
- QosmioPlayer（コスミオプレーヤ）

使いかたは、DVD スーパーマルチドライブモデルと同様です。

参照 『オーディオ＆ビジュアルガイド 12 DVD の映画や映像を観る』

【 音楽 CD を再生する 】
- RoomStylePlayer
- BeatJam for TOSHIBA
- Windows Media Player
- QosmioPlayer

使いかたは、DVD スーパーマルチドライブモデルと同様です。

参照 『オーディオ＆ビジュアルガイド 13 音楽を聴く』

《おたすけナビ（検索）：
音楽 CD やファイル、ムービーを再生したい》

【 CD ／ DVD を作る 】
- TOSHIBA Disc Creator

使いかたは、DVD スーパーマルチドライブモデルと同様です。

参照 『オーディオ＆ビジュアルガイド 14
オリジナル音楽 CD を作る』

『オーディオ＆ビジュアルガイド 16- ③
編集した写真を CD ／ DVD にコピーする』

『セットアップガイド 4 章 3- ③
CD ／ DVD にデータのバックアップをとる』

《おたすけナビ（検索）：CD ／ DVD を作りたい》

【 データを CD ／ DVD にコピーする 】
- TOSHIBA Direct Disc Writer

使いかたは、DVD スーパーマルチドライブモデルと同様です。

参照 『オーディオ＆ビジュアルガイド 16- ③
編集した写真を CD ／ DVD にコピーする』

『セットアップガイド 4 章 3- ③
CD ／ DVD にデータのバックアップをとる』

《おたすけナビ（検索）：
データを CD/DVD にコピーしたい》

【 映像を編集して DVD に残す、DVD に直接録画する 】
- InterVideo WinDVD Creator 2 Platinum for TOSHIBA

使いかたは、DVD スーパーマルチドライブモデルと同様です。

参照 『オーディオ＆ビジュアルガイド 10
映像を編集して DVD に残す』

『オーディオ＆ビジュアルガイド 8- ③ DVD に
直接録画（DVD ダイレクトレコーディング）する』

「InterVideo WinDVD Creator 2 Platinum」の
ヘルプ

【 映像を DVD に残す 】
- InterVideo DVD Copy FileToDVD　for TOSHIBA

使いかたは、DVD スーパーマルチドライブモデルと同様です。

参照 『オーディオ＆ビジュアルガイド 11
映像を DVD に残す』

【 リカバリディスクを作る 】
- TOSHIBA Recovery Disc Creator

使いかたは、DVD スーパーマルチドライブモデルと同様です。

参照 『セットアップガイド 4 章 4
リカバリディスクを作る』

【 ドライブの動作音を小さくする 】
- CD/DVD 静音ユーティリティ

使いかたは、DVD スーパーマルチドライブモデルと同様です。

参照 『オーディオ＆ビジュアルガイド 15- ③
ドライブの動作音を小さくする』

② 使える CD を確認しよう

お願い　使える CD のサイズ

- 本製品のドライブでは、8cm、12cm の CD のみ使用できます。これら以外の CD は使用しないでください。

【 読み出しできる CD 】
対応フォーマットによっては再生ソフトが必要な場合があります。
- 音楽用 CD
  8cm または 12cm の音楽用 CD が聴けます。
- フォト CD
  普通のカメラで撮影した写真の画像をデジタル化して記録したものです。
- CD-ROM
  使用するシステムに適合する ISO 9660 フォーマットのものが使用できます。
- CD エクストラ
  記録領域は音楽データ用とパソコンのデータ用に分けられています。それぞれの再生装置で再生できます。
- CD-R
- CD-RW

【 書き込みできる CD 】
- CD-R
  書き込みは 1 回限りです。書き込まれたデータの削除・変更はできません。
- CD-RW

書き込み速度は、使用するメディアによって異なります。

CD-R メディア：最大 16 倍速
最大の倍速で書き込むためには書き込み速度に対応した CD-R メディアを使用してください。
マルチスピード CD-RW メディア　：最大 4 倍速
High-Speed CD-RW メディア　：最大 10 倍速
Ultra Speed CD-RW メディア　：最大 10 倍速

Ultra Speed+CD-RW メディアは使用できません。使用した場合、データは保証できません。

お願い　CD-RW、CD-R について

- CD-RW、CD-R に書き込む際には、次のメーカのメディアを使用することを推奨します。

  CD-RW（マルチスピード、High-Speed）
  　：三菱化学メディア（株）、（株）リコー
  CD-RW（Ultra-Speed）
  　：三菱化学メディア（株）
  CD-R ：太陽誘電（株）、三菱化学メディア（株）、
  　（株）リコー

  これらのメーカ以外のメディアを使用すると、うまく書き込みができない場合があります。
- CD-R に書き込んだデータの消去はできません。
- CD-RW メディアは書き換え可能なメディアですが、「TOSHIBA Disc Creator」で書き込んだファイルを変更したり、削除したりすることはできません。ファイルの変更・削除が必要な場合は、まず CD-RW メディアの消去を行い、改めて必要なファイルだけを書き込んでください。
  「TOSHIBA Direct Disc Writer」で CD-RW メディアに書き込んだファイルは、変更・削除することができます。
- CD-RW の消去されたデータを復元することはできません。消去の際は、メディアの内容を十分に確認してから行ってください。
- 書き込み可能なドライブが複数台接続されている際には、書き込み・消去するメディアをセットしたドライブを間違えないよう十分に注意してください。
- ハードディスクに不良セクタがあると書き込みに失敗するおそれがあります。定期的に「エラーチェック」でクラスタのチェックを行うことをおすすめします。

参照　エラーチェックの方法『活用ガイド 6 章 4 Q&A 集 その他 -Q セーフモードで起動した』

- ドライブの構造上、メディアの傷、汚れ、ホコリ、チリなどにより読み出し／書き込みができなくなる場合があります。データなどを書き込む際は、メディアの状態をよくご確認ください。

③ 使える DVD を確認しよう

お願い　使える DVD のサイズと書き込み速度

- 本製品のドライブでは、8cm、12cm の DVD のみ使用できます。これら以外の DVD は使用しないでください。
- 使用可能なメディアの倍速と、本製品で可能な書き込み／書き換え速度は次のとおりです。

使用可能メディア	書き込み／書き換え速度
・16 倍速までの DVD-R ／ DVD+R	書き込み最大 4 倍速
・4 倍速までの DVD-R DL	書き込み最大 2 倍速
・8 倍速までの DVD+R DL	書き込み最大 2.4 倍速
・6 倍速までの DVD-RW	書き換え最大 4 倍速
・8 倍速までの DVD+RW	書き換え最大 4 倍速
・5 倍速までの DVD-RAM	書き換え最大 3 倍速

これらより速い書き込み倍速に対応したメディアを使用することはできません。

【 読み出しできる DVD 】

対応フォーマットによっては再生ソフトが必要な場合があります。

- DVD-ROM
- DVD-Video
  映像再生用です。映画などが収録されています。
- DVD-R、DVD-R DL（format1）
- DVD+R、DVD+R DL
- DVD-RW
- DVD+RW
- DVD-RAM

【 書き込みできる DVD 】

- DVD-R
  書き込みは 1 回限りです。書き込まれたデータの削除・変更はできません。DVD-R は、DVD-R for General Ver2.0 規格に準拠したメディアを使用してください。
- DVD-RW
  DVD-RW は、DVD-RW Ver1.1 または Ver1.2 規格に準拠したメディアを使用してください。
- DVD-R DL
  DVD-R DL は、DVD-R の記録層を 2 つにして、片面に 2 層分の記録が可能な規格のことです。
  既存の 1 層の DVD-R メディアの記録容量 4.7GB の約 1.8 倍となる、8.5GB 分の記録容量を実現します。例えば、MPEG2 の 4Mbps の映像データで、1 層の DVD-R メディアの時が約 2 時間分なら DVD-R DL は約 3.6 時間分の記録が可能になります。
  ただし、Format1 対応のため追記ができません。1 層の DVD-R メディアに収まる容量のデータを保存する場合は、追記できる DVD-R を使用することをおすすめします。
- DVD+R
  書き込みは 1 回限りです。書き込まれたデータの削除・変更はできません。

- DVD+R DL
  DVD+R DLとは、DVD+Rの記録層を2つにして、片面に2層分の記録が可能な規格のことです。
  既存の1層のDVD+Rメディアの記録容量4.7GBの約1.8倍となる、8.5GB分の記録容量を実現します。例えば、MPEG2の4Mbpsの映像データで、1層のDVD+Rメディアの時が約2時間分ならDVD+R DLは約3.6時間分の記録が可能になります。
- DVD+RW
- DVD-RAM
  DVD-RAMは、DVD-RAM Ver2.0、Ver2.1、Ver2.2規格に準拠したメディアを使用してください。

【 DVD-RAMの種類 】
DVD-RAMにはいくつかの種類があります。本製品のドライブで使用できるDVD-RAMは次のとおりです。
カートリッジタイプのメディアは、カートリッジから取り出してドライブにセットしてください。両面ディスクで、読み出し／書き込みする面を変更するときは、一度ドライブからメディアを取り出し、裏返してセットし直してください。

○：使用できる　×：使用できない

DVD-RAMの種類	本製品の対応
カートリッジなし＊1	○
カートリッジタイプ（取り出し不可）	×
カートリッジタイプ（取り出し可能）＊2	○

＊1　一部の家庭用DVDビデオレコーダでは再生できない場合があります。
＊2　2.6GB、5.2GBのディスクは使用できません。

新品のDVD-RAMは、使用する目的にあわせて「フォーマット」という作業が必要です。
フォーマットとは、DVD-RAMにデータの管理情報（ファイルシステム）を記録し、DVD-RAMを使えるようにすることです。
フォーマットされていないDVD-RAMは、フォーマットしてから使用してください。
DVD-RAMのフォーマットについては、《おたすけナビ（検索）：DVD-RAMをフォーマットする》を確認してください。

お願い　DVDについて

- DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R、DVD+RW、DVD+Rに書き込む際には、次のメーカのメディアを使用することを推奨します。
  DVD-RAM　：日立マクセル（株）
  DVD-RW　：日本ビクター（株）、三菱化学メディア（株）
  DVD-R　：松下電器産業（株）、太陽誘電（株）
  DVD-R DL：三菱化学メディア（株）
  DVD+RW　：三菱化学メディア（株）、（株）リコー
  DVD+R　：三菱化学メディア（株）、（株）リコー
  DVD+R DL：三菱化学メディア（株）
  これらのメーカ以外のメディアを使用すると、うまく書き込みができない場合があります。
- DVD-R、DVD+Rに書き込んだデータの消去はできません。
- DVD-RW、DVD+RWメディアは書き換え可能なメディアですが、「TOSHIBA Disc Creator」で書き込んだファイルを変更したり、削除したりすることはできません。ファイルの変更・削除が必要な場合は、まずDVD-RW、DVD+RWメディアの消去を行い、改めて必要なファイルだけを書き込んでください。
  「TOSHIBA Direct Disc Writer」でDVD-RW、DVD+RWメディアに書き込んだファイルは、変更・削除することができます。
- DVD-RW、DVD+RWの消去されたデータを復元することはできません。消去の際は、メディアの内容を十分に確認してから行ってください。
- 書き込み可能なドライブが複数台接続されているときには、書き込み・消去するメディアをセットしたドライブを間違えないよう十分に注意してください。
- DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R、DVD+RW、DVD+Rへの書き込みでは、ファイルの管理領域なども必要になるため、メディアに記載された容量分のデータを書き込めない場合があります。
- DVD-RW、DVD-Rへの書き込みでは、DVDの規格に準拠するため、書き込むデータのサイズが約1GBに満たない場合にはダミーのデータを加えて、最小1GBのデータに編集して書き込みます。このため、実際に書き込もうとしたデータが少ないにもかかわらず、書き込み完了までに時間がかかることがあります。
- ハードディスクに不良セクタがあると書き込みに失敗するおそれがあります。定期的に「エラーチェック」でクラスタのチェックを行うことをおすすめします。

参照　エラーチェックの方法『活用ガイド 6章 4 Q&A集 その他-Q セーフモードで起動した』

- ドライブの構造上、メディアの傷、汚れ、ホコリ、チリなどにより読み出し／書き込みができなくなる場合があります。データなどを書き込むときは、メディアの状態をよくご確認ください。
- DVD-RAMをドライブにセットしたとき、システムがDVD-RAMを認識するまでに多少時間がかかります。

メモ

- 市販のDVD-Rには業務用メディア（for Authoring）と一般用メディア（for General）があります。業務用メディアはパソコンのドライブでは書き込みすることができません。
  一般用メディア（for General）を使用してください。
- 市販のDVD-RAM、DVD-RW、DVD-R、DVD+RW、DVD+Rには「for Data」と「for Video」の2種類があります。映像を保存する場合や家庭用DVDビデオレコーダとの互換性を重視する場合は「for Video」を使用してください。
- 作成したDVDは、一部の家庭用DVDビデオレコーダやパソコンでは再生できないこともあります。また、作成したDVD+R DLメディア、DVD-R DLメディアを再生するときは、それぞれのメディアの読み取りに対応している機器を使用してください。

④ 使えるHD DVDを確認しよう

お願い　使えるHD DVDのサイズと読み出し速度

- 本製品のドライブでは、12cmのHD DVDのみ使用できます。これ以外のHD DVDは使用しないでください。
- 使用可能なメディアの倍速と、本製品で可能な読み出し速度は次のとおりです。

使用可能メディア	読み出し速度
・1倍速までの HD DVD-ROM、HD DVD	読み出し最大1倍速

これより速い読み出し倍速に対応したメディアを使用することはできません。

本製品のドライブで使用できるHD DVDは、次のメディアのみです。

【読み出しできるHD DVD】
対応フォーマットによっては再生ソフトが必要な場合があります。

- HD DVDビデオディスク
  映像再生用です。映画などが収録されています。
- HD DVD-ROM（片面1層、片面2層ディスク）
- HD DVD（ツインフォーマットディスク）
  HD DVDとDVDの両方の記録層を持っています。

⑤ CD／DVD／HD DVDを使うとき（セット）

CD／DVD／HD DVDは、パソコン本体に装備されているドライブにセットして使用します。

お願い　操作にあたって

- メディアアクセス ◎/▯ LED、ディスクトレイLEDが点灯しているときは、イジェクトボタンを押したり、CD／DVD／HD DVDを取り出す操作をしないでください。CD／DVD／HD DVDが傷ついたり、ドライブが壊れるおそれがあります。
- パソコン本体を持ち運ぶときは、ドライブにCD／DVD／HD DVDが入っていないことを確認してください。入っている場合は取り出してください。
- ディスクトレイ内のレンズおよびその周辺に触れないでください。ドライブの故障の原因になります。
- 電源が入っているときには、イジェクトホールを押さないでください。回転中のCD／DVD／HD DVDのデータやドライブが壊れるおそれがあります。

参照　イジェクトホールについて「本節 ⑥ CD／DVD／HD DVDを使い終わったとき（取り出し）」

- ドライブのトレイを開けたときに、CD／DVD／HD DVDが回転している場合には、停止するまでCD／DVD／HD DVDに手を触れないでください。ケガのおそれがあります。
- CD／DVD／HD DVDをディスクトレイにセットするときは、無理な力をかけないでください。
- CD／DVD／HD DVDを正しくディスクトレイにセットしないとCD／DVD／HD DVDを傷つけることがあります。
- 本製品では、8cm、12cmのCD／DVDと、12cmのHD DVDのみ使用できます。これら以外のCD／DVD／HD DVDは使用できません。

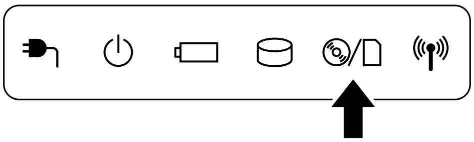
メモ　セットする前に確認しよう

- 傷ついたり汚れのひどいCD／DVD／HD DVDの場合は、挿入してから再生が開始されるまで、時間がかかる場合があります。汚れや傷がひどいと、正常に再生できない場合もあります。汚れをふきとってから再生してください。
- CD／DVD／HD DVDの特性やCD／DVD／HD DVDへの書き込み時の特性によって、読み出せない場合もあります。

ドライブに関する表示

パソコンの電源が入っていて、ドライブが動作しているときは、次のLEDが点灯します。

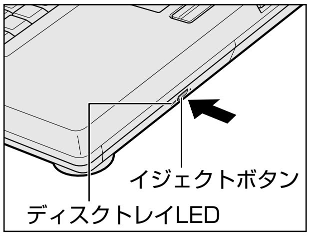
- メディアアクセス ◎/▯ LED



- ディスクトレイLED
  「本項」の手順2を確認してください。

1 パソコン本体の電源を入れる

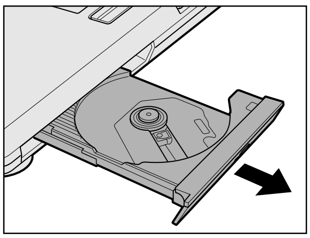
2 イジェクトボタンを押す



イジェクトボタンを押したら、ボタンから手を離してください。ディスクトレイが少し出てきます（数秒かかることがあります）。

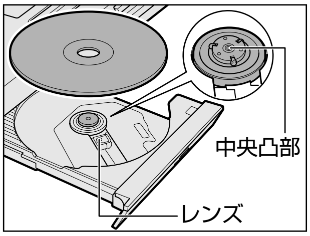
※ 購入したモデルによってイジェクトボタンの位置は異なります。

3 ディスクトレイを引き出す



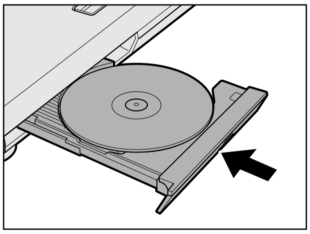
CD／DVD／HD DVDをのせるトレイがすべて出るまで、引き出します。

4 文字が書いてある面を上にして、CD ／ DVD ／ HD DVD の穴の部分をディスクトレイの中央凸部に合わせ、上から押さえてセットする



「カチッ」と音がして、セットされたことを確認してください。

5 「カチッ」と音がするまで、ディスクトレイを押し戻す



CD ／ DVD ／ HD DVD をセットすると、再生するアプリケーションや操作を選択する画面が表示されます。

【 「QosmioPlayer」を使うには 】
本製品では、電源オフまたは休止状態のときに音楽 CD や DVD-Video などを挿入しても、「QosmioPlayer」が自動的に起動し、再生を開始する機能には対応しておりません。
「QosmioPlayer」については、『オーディオ＆ビジュアルガイド』を参照してください。

⑥ CD ／ DVD ／ HD DVD を使い終わったとき（取り出し）

イジェクトボタンを使う場合

1 パソコン本体の電源が入っているか確認する

電源が入っていない場合は電源を入れてください。

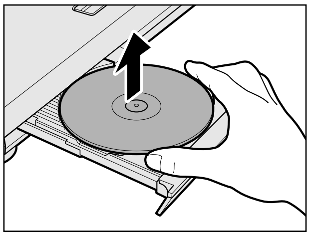
2 イジェクトボタンを押す

ディスクトレイが少し出てきます。

3 ディスクトレイを引き出す

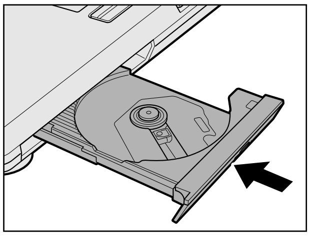
CD ／ DVD ／ HD DVD をのせるトレイがすべて出るまで、引き出します。

4 CD ／ DVD ／ HD DVD の両端をそっと持ち、上に持ち上げて取り出す



CD ／ DVD ／ HD DVD を取り出しにくいときは、中央凸部を少し押してください。簡単に取り出せるようになります。

5 「カチッ」と音がするまで、ディスクトレイを押し戻す



リモコンを使う場合

次の場合に、リモコンの［取り出し］ボタンを押すと、CD ／ DVD ／ HD DVD を取り出すことができます。

- Windows 動作中
- QosmioPlayer 動作中
- 電源が入っていない状態
- 休止状態

1 リモコンの［取り出し］ボタンを押す

ディスクトレイが少し出てきます。
以降の操作は、「本項 イジェクトボタンを使う場合」の手順 3 に進んでください。

CD／DVD／HD DVDが出てこない場合

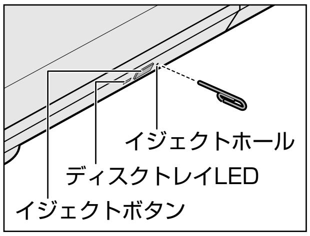
電源が入っていないときは、イジェクトボタンを押してもCD／DVD／HD DVDは出てきません。電源を入れてから、イジェクトボタンを押し、CD／DVD／HD DVDを取り出してください。

次の場合は、電源が入っていても、イジェクトボタンまたはリモコンの［取り出し］ボタンを押した後すぐにCD／DVD／HD DVDは出てきません。

- 電源を入れた直後
- ディスクトレイを閉じた直後
- 再起動した直後
- ドライブ関係のLEDが点灯しているとき

上記以外でCD／DVD／HD DVDが出てこない場合は、次のように操作してください。

- Windows動作中の場合
  CD／DVD／HD DVDを使用しているアプリケーションをすべて終了してから、イジェクトボタンまたはリモコンの［取り出し］ボタンを押してください。
- QosmioPlayer動作中の場合
  CD／DVDの再生を停止してから、イジェクトボタンまたはリモコンの［取り出し］ボタンを押してください。
- パソコン本体の電源が入らない場合



※購入したモデルによってイジェクトボタン、イジェクトホール、ディスクトレイLEDの位置は異なります。

電源が入らない場合は、イジェクトホールを、先の細い丈夫なもの（クリップを伸ばしたものなど）で押してください。

参照 CD／DVD／HD DVDが取り出せない場合
「4 Q&A集 CD／DVD／HD DVD
-Q CD／DVD／HD DVDが取り出せない」

3 HD DVD を観る

本製品では、ドライブにHD DVDビデオディスクをセットして、迫力ある映像を楽しむことができます。
HD DVDビデオディスク再生ソフトウェアとして、「InterVideo WinDVD HD™ for TOSHIBA」が用意されています。

お願い　HD DVD再生機能について

- HD DVDは新技術を利用した新規格です。ディスク、その他のデジタル機器との接続、その他の互換性、動作に何らかの問題が生じる可能性があります。HD DVD-ROMロゴは、ドライブがHD DVDの物理規格に対応していることを表すものであり、HD DVDビデオの規格に対応していることを表すものではありません。本機は、DVDフォーラムの規格の定めるHD DVDのビデオ規格のアドバンスト機能のうち、ピクチャーインピクチャー、ネットワークダウンロード等の機能には対応しておりません。HD DVDのコンテンツによっては、画面の動きがスムーズでなくなったり、パフォーマンスが落ちる場合があります。
- 本機のHD DVD再生機能は次世代著作権保護技術AACS（Advanced Access Content System）に対応しています。HD DVDを継続的にお楽しみいただくためには、本機に含まれているAACSキーの更新が必要となります。
  東芝はご購入から5年間、キーの更新を無償で提供いたしますが、その後はInterVideo社の定める条件に基づきキーの更新が提供されます。
  なお、更新の際にはインターネット接続が必要です。
- HD DVD再生機能はコンテンツ内蔵のプログラムに従って作動しますので、コンテンツによって、操作方法、操作時の画面、効果音、アイコンなどの機能・動作は、それぞれ異なる場合があります。これらの詳細は、コンテンツに添付されている取扱説明書を参照されるか、発売メーカーに直接お問い合わせください。

お願い　HD DVDビデオディスクの再生にあたって

- HD DVDビデオディスクの再生には、「InterVideo WinDVD HD」を使用してください。「InterVideo WinDVD」、「QosmioPlayer」、「Windows Media Player」やその他市販ソフトを使用してHD DVDビデオディスクの再生はできません。
- HD DVDビデオディスク再生ソフト「InterVideo WinDVD HD」は、HD DVDビデオディスク再生専用です。DVDの再生はサポートしていません。
- HD DVDビデオディスク再生時は、必ずACアダプタを接続してください。省電力機能が働くと、スムーズな再生ができない場合があります。
- 使用するHD DVDビデオディスクのタイトルによっては、コマ落ちする場合があります。
- HD DVDビデオディスクを再生する前に、他のアプリケーションを終了させてください。また、再生中には他のアプリケーションを起動させたり、他の操作は行わないでください。
  再生中に、常駐しているプログラムの画面やアイコンなどがちらつく場合は、「InterVideo WinDVD HD」を最大表示にしてください。
- 「Qosmio AV Center」などのアプリケーションでテレビ番組を録画中は、HD DVDビデオディスクを再生しないでください。HD DVDビデオディスクの再生およびテレビ番組の録画が正しく動作しない場合があります。また、HD DVDビデオディスク再生中に、予約していた録画が開始されると、HD DVDビデオディスクの再生およびテレビ番組の録画が正しく動作しない場合がありますので、録画予約されていない時間帯にHD DVDビデオディスクの再生をしてください。
- 外部ディスプレイまたはテレビに表示する場合は、HDMI端子ケーブルを使用してHDMI出力端子に機器を接続し、再生する前にあらかじめ表示装置を切り替えてください。
- HD DVDビデオディスクの映像は、本体液晶ディスプレイまたはHDMI出力端子に接続したテレビのみに表示できます。S-Video出力コネクタに接続したテレビや、RGBコネクタに接続した外部ディスプレイには、表示させることはできません。また、本体液晶ディスプレイと外部ディスプレイまたはテレビへの同時表示（クローン表示、デュアルビュー（Dualview）表示）はできません。

参照 HDMI出力端子への接続、表示装置の切り替え 「本節 ③ パソコンをHD DVDプレーヤ代わりに使う」

- HD DVDビデオディスクの再生を開始するまでに、時間がかかる場合があります。
- HD DVD（ツインフォーマットディスク）を再生する場合は、デスクトップ上の「WinDVD起動メニュー」アイコンから起動してください。「InterVideo WinDVD HD」ではHD DVD（ツインフォーマットディスク）のHD DVD層のみ再生可能です。

その他の注意については、「Readme」に記載しています。
「Readme」の起動は、［スタート］→［すべてのプログラム］→［WinDVD HD for TOSHIBA］→［readme1st.txt］をクリックしてください。

① InterVideo WinDVD HD を起動する

「InterVideo WinDVD HD」を起動する方法は、次のとおりです。

1 Windows が起動している状態で、ドライブに HD DVD ビデオディスクをセットする

アプリケーションを選択する画面が表示された場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

参照 HD DVD のセットについて 「3-⑤ CD ／ DVD ／ HD DVD を使うとき（セット）」

2 リモコンの［HOME］ボタンを押す



「Qosmio AV Center」が起動します。

3 リモコンの方向ボタンで、［CD ／ DVD ／ HD DVD］を選択し、［決定］ボタンを押す





「InterVideo WinDVD HD」が起動します。

HD DVD（ツインフォーマットディスク）をセットしている場合は、「WinDVD 起動メニュー」が起動します。

参照 「本項 役立つ操作集 再生するアプリケーションを選択する」

メモ

- 「InterVideo WinDVD HD」は、［スタート］→［すべてのプログラム］→［WinDVD HD for TOSHIBA］→［WinDVD HD for TOSHIBA］をクリックしても起動できます。
- 「InterVideo WinDVD HD」は、手順 1 の後でリモコンの［CD/DVD］ボタンを押して起動することもできます。
- 「InterVideo WinDVD HD」は、手順 1 の後でフロントオペレーションパネルの［CD/DVD］ボタンを押して起動することもできます。

役立つ操作集

再生するアプリケーションを選択する



HD DVD（ツインフォーマットディスク）を再生するときは、「WinDVD 起動メニュー」を使用して、再生するアプリケーションを選択してください。
リモコンで操作する場合は、リモコンの方向ボタンで、「HD DVD」または「DVD」を選択し、［決定］ボタンを押してください。

HD DVD ：HD DVDビデオディスクを再生するとき
「InterVideo WinDVD HD」が起動します。
DVD ：DVD-Videoを再生するとき
「InterVideo WinDVD」が起動します。

「WinDVD 起動メニュー」は、デスクトップ上の［WinDVD 起動メニュー］アイコン（）をダブルクリックすると起動できます。
また、次のときにHD DVD（ツインフォーマットディスク）がドライブにセットされている場合は、「WinDVD 起動メニュー」が自動的に起動します。

- 「Qosmio AV Center」で［CD／DVD／HD DVD］を選択したとき
- リモコンの［CD/DVD］ボタンを押したとき
- フロントオペレーションパネルの［CD/DVD］ボタン、［再生／一時停止］ボタンを押したとき

「WinDVD 起動メニュー」を起動すると、ドライブにセットされているディスクによって、次の動作を行います。

HD DVDビデオディスクがセットされている場合	：「WinDVD HD」を起動＊1
HD DVD（ツインフォーマットディスク）がセットされている場合	：［WinDVD 起動メニュー］画面を表示
DVD-VideoまたはDVD-VRディスクがセットされている場合	：「WinDVD」を起動＊1
HD DVDビデオディスクまたはDVD-VideoまたはDVD-VRディスク以外がセットされている、または何もセットされていない場合	：［WinDVD 起動メニュー］画面を表示

＊1［WinDVD 起動メニュー］画面は表示されません。

② InterVideo WinDVD HD を使う

お願い 「WinDVD HD」の使用にあたって

- HD DVDの規格にはAボタン、Bボタン、Cボタン、Dボタンが定義されており、ソフトによって、「Aボタンを押してください」などのようなメッセージを表示します。
  このとき、「InterVideo WinDVD HD」では、リモコンの次のボタンまたはキーボードの次のキーを押してください。
  　Aボタン：リモコンのAボタン／キーボードの F3 キー
  　Bボタン：リモコンのBボタン／キーボードの F4 キー
  　Cボタン：リモコンのCボタン／キーボードの F5 キー
  　Dボタン：リモコンのDボタン／キーボードの F6 キー
  キーボードの A キー、B キー、C キー、D キーは使用できません。
- 再生するHD DVDビデオディスクやシーンによっては、画面の表示や使用できる機能が一部異なる場合があります。
- 操作ボタン（リモコンやフロントオペレーションパネルでの操作も含みます）の一部は、機能に対応している場合のみ使用できます。

「InterVideo WinDVD HD」を起動すると、表示エリアと、その下部にWinDVD HD プレーヤー パネルが表示されます。



ヘルプの起動方法

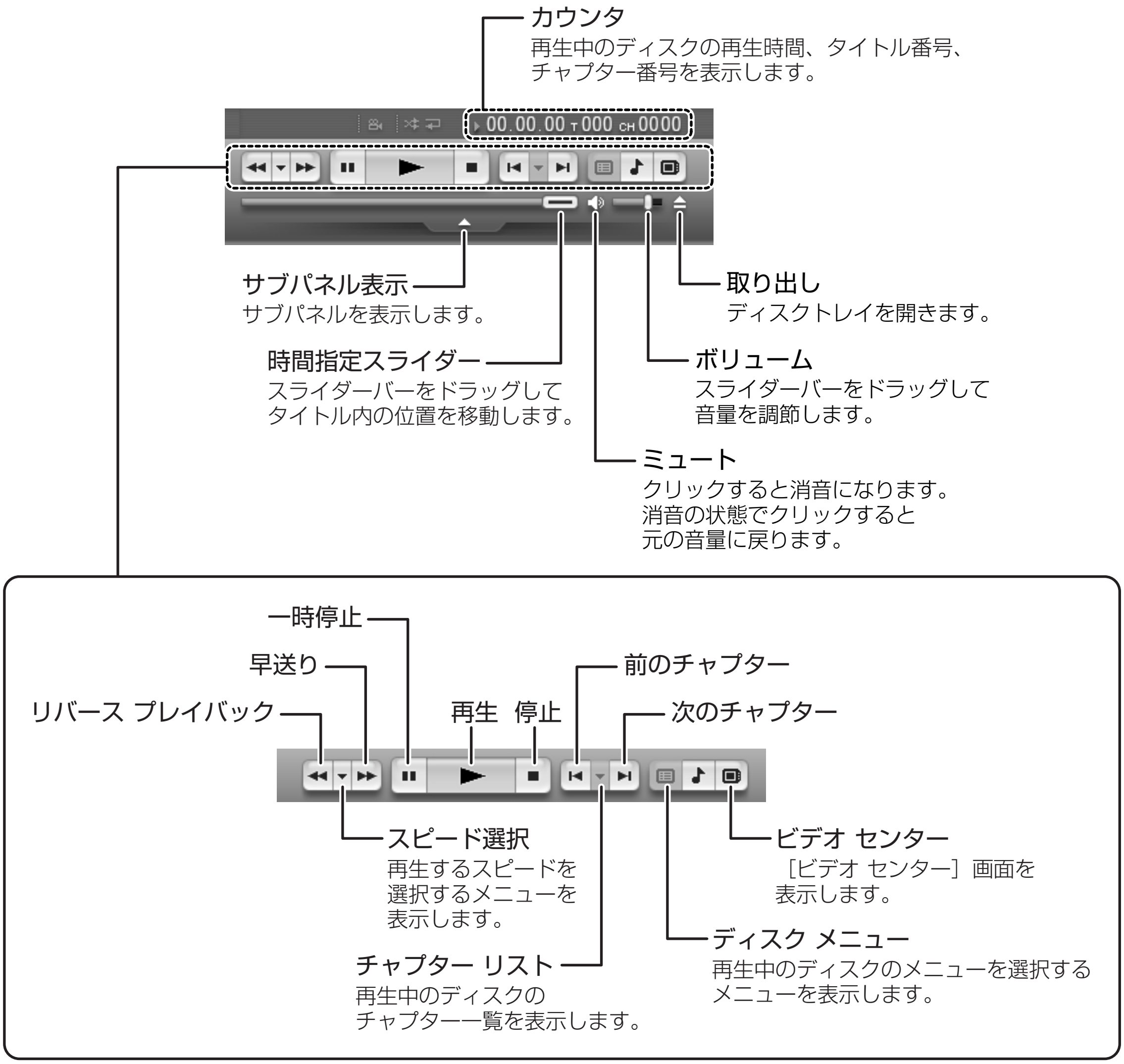
1 表示エリアの［ヘルプ］ボタン（ ? ）をクリックする

お問い合わせ先

「InterVideo WinDVD HD」、「WinDVD 起動メニュー」のお問い合わせは、東芝 PC あんしんサポート（巻末参照）へお願いいたします

1 WinDVD HD プレーヤー パネル

HD DVD ビデオディスク再生のときは、おもに次のボタンを使用します。
各ボタンの詳細については、ヘルプを確認してください。



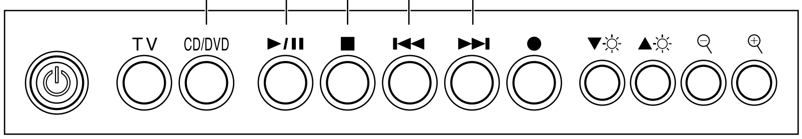
2 リモコンで操作する

同梱のリモコンを使って再生操作することができます。
リモコンでの操作方法は、「InterVideo WinDVD」の場合と同様です。

参照 『オーディオ＆ビジュアルガイド 付録 3 リモコン操作一覧（Windows XP)』

3 フロントオペレーションパネルで操作する

フロントオペレーションパネルを使用すると簡単に操作することができます。ここでは、次のボタンについて説明します。



ボタンの操作方法

操作するボタンを、指で押してください。押したボタンに割り当てられている機能を実行します。ボタンに割り当てられている機能は「東芝コントロール」で変更できます。詳しくは、《おたすけナビ（検索）：ボタンに割り当てるアプリケーションを変更する》を参照して、設定を変更してください。

お願い 操作にあたって

- ボタンを強く押さえたり、ボールペンなどの先の鋭いものを使わないでください。ボタンが故障するおそれがあります。

ボタンの機能

それぞれのボタンの機能は、次のようになっています。

CD/DVD ボタン	音楽や映像を再生するアプリケーションを起動します。起動するアプリケーションは、ドライブにセットされているディスクによって、次のものです。 HD DVD ビデオディスクがセットされている場合 ：WinDVD HD HD DVD（ツインフォーマットディスク）がセットされている場合 ：WinDVD 起動メニュー DVD-Video または DVD-VR ディスクがセットされている場合 ：WinDVD * HD DVD ビデオディスクまたは DVD-Video または DVD-VR ディスク以外がセットされている、 または何もセットされていない場合 ：RoomStylePlayer * パソコン本体に電源が入っていない、または休止状態の場合は、「QosmioPlayer *」の次の機能を起動します。 CD がセットされている場合 ：QosmioPlayer（CD）* DVD がセットされている場合 ：QosmioPlayer（DVD）*
再生 / 一時停止 ボタン	音楽や映像を再生するアプリケーションを起動します。起動するアプリケーションは、ドライブにセットされているディスクによって、次のものです。 HD DVD ビデオディスクがセットされている場合 ：WinDVD HD HD DVD（ツインフォーマットディスク）がセットされている場合 ：WinDVD 起動メニュー DVD-Video または DVD-VR ディスクがセットされている場合 ：WinDVD * HD DVD ビデオディスクまたは DVD-Video または DVD-VR ディスク以外がセットされている、 または何もセットされていない場合 ：RoomStylePlayer * すでに再生するアプリケーションが起動している場合には、一時停止または一時停止を解除します。 また「QosmioPlayer *（TV）」を起動しているときに押すと、録画したテレビ映像がある場合は、その映像を再生します。
停止ボタン	そのとき操作しているアプリケーションを、停止します。 このボタンは、「WinDVD HD」「RoomStylePlayer *」「WinDVD *」「QosmioPlayer（TV）*（録画、再生時のみ）」「QosmioPlayer（CD）*」「QosmioPlayer（DVD）*」に対して、操作可能です。

＊「QosmioPlayer（QosmioPlayer（TV）、QosmioPlayer（CD）、QosmioPlayer（DVD）を含む）」、「RoomStylePlayer」、「WinDVD」については『オーディオ＆ビジュアルガイド』を参照してください。

逆送りボタン	そのとき再生している音楽や映像のトラック／チャプタを1つ前またはトラック／チャプタの先頭に戻します。 このボタンは、「WinDVD HD」「RoomStylePlayer＊」「WinDVD＊」「QosmioPlayer（CD）＊」「QosmioPlayer（DVD）＊」に対して、操作可能です。
先送りボタン	そのとき再生している音楽や映像のトラック／チャプタを1つ進めます。 このボタンは、「WinDVD HD」「RoomStylePlayer＊」「WinDVD＊」「QosmioPlayer（CD）＊」「QosmioPlayer（DVD）＊」に対して、操作可能です。

＊「QosmioPlayer（QosmioPlayer（TV）、QosmioPlayer（CD）、QosmioPlayer（DVD）を含む）」、「RoomStylePlayer」、「WinDVD」については『オーディオ＆ビジュアルガイド』を参照してください。

フロントオペレーションパネルのTVボタン、録画ボタン、輝度－ボタン、輝度＋ボタン、文字縮小ボタン、文字拡大ボタンについては、『活用ガイド』を確認してください。

参照　『活用ガイド 1章 1-①-2 電源スイッチ、フロントオペレーションパネル』

③ パソコンをHD DVDプレーヤ代わりに使う

パソコンの「InterVideo WinDVD HD」で再生している映像を、HDMI入力端子があるテレビにも表示することができます。

お願い

- HD DVDビデオディスクの映像は、本体液晶ディスプレイまたはHDMI出力端子に接続したテレビのみに表示できます。S-Video出力コネクタに接続したテレビや、RGBコネクタに接続した外部ディスプレイには、表示させることはできません。

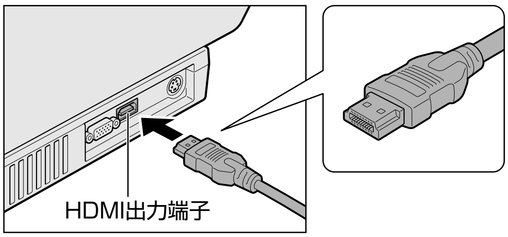
【 接続の前に 】
テレビを接続するときは、『テレビに付属の取扱説明書』もあわせて確認してください。

- 接続できるテレビ
  HDMI入力端子があるテレビを接続できます。
  接続するHDMI端子ケーブルは、市販のものを使用してください。
  すべてのHDMI入力端子があるテレビの動作確認は行っていません。したがって、すべてのHDMI入力端子があるテレビへの表示は保証できません。テレビによっては正しく表示されない場合があります。

1 パソコンに接続する

テレビとパソコン本体の電源を切った状態で接続してください。

1 **HDMI端子ケーブルのプラグをパソコン本体のHDMI出力端子に差し込む**



2 **HDMI端子ケーブルのもう一方のプラグをテレビのHDMI入力端子に差し込む**

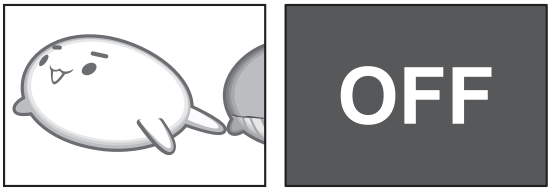
3 **テレビの電源を入れてから、パソコン本体の電源を入れる**

音声は、テレビ側とパソコン本体側の両方から出力されます。パソコン本体から音声を出力したくない場合は、ボリュームダイヤルや(FN)+(ESC)キーでパソコン本体の音量をミュート（消音）に設定してください。
「ボリュームコントロール」の［WAVE］を操作すると、テレビ側とパソコン本体側の両方から出力する音量を調整します。

2 表示を切り替える

HD DVD ビデオディスクの映像を表示するには、次の表示方法があります。
表示方法は、表示装置の切り替えを行うことで変更できます。

【 本体液晶ディスプレイだけに表示／テレビだけに表示 】
いずれかの表示装置にのみ、デスクトップ画面を表示します。



テレビに表示するには次の設定を行ってください。設定を行わないと、テレビには表示されません。

お願い 操作にあたって

- 必ず、HD DVD ビデオディスクを再生する前に、表示装置の切替えを行ってください。再生中は表示装置を切り替えないでください。
- 次のようなときには、表示装置を切り替えないでください。
  ・データの読み出しや書き込みをしている間
  ・通信を行っている間
- Clone（クローン）表示、デュアルビュー（Dualview）表示（拡張表示）しているときは HD DVD ビデオディスクは再生することができません。本体液晶ディスプレイまたはテレビのどちらかだけに表示してください。

方法 1 ー［画面のプロパティ］で設定する

1 **［コントロールパネル］を開き、［ デスクトップの表示とテーマ］をクリックする**

2 **［ 画面］をクリックする**

［画面のプロパティ］画面が表示されます。

3 **［設定］タブで［詳細設定］ボタンをクリックする**

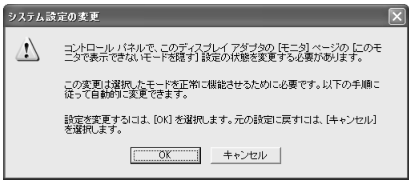
4 **［GeForce Go 7600］タブで次のいずれかに設定する**

［設定方法］に進んでください。

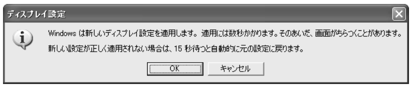


【 メッセージについて 】
設定の途中で、次のメッセージが表示された場合は、［OK］または［はい］ボタンをクリックしてください。

- ［システム設定の変更］画面



- ［ディスプレイ設定］画面



- ［ディスプレイ設定の確認］画面



【 設定方法 】

- 本体液晶ディスプレイだけに表示
  ①［nView］で［1 つのディスプレイ］を選択する
  ②［現在のディスプレイ］で［デジタル フラットパネル］を選択する
  ③［OK］ボタンをクリックする
- HDMI 出力端子に接続したテレビだけに表示
  ①［nView］で［1 つのディスプレイ］を選択する
  ②［現在のディスプレイ］で［HDMI 表示デバイス］＊1 を選択する
  ③［OK］ボタンをクリックする

＊1「HDMI 表示デバイス」部分に、接続しているテレビの名前が表示されています。また、［HDMI 表示デバイス］アイコンにポインタをあわせると、「DVI モニタ」として表示されます。

5 ［画面のプロパティ］画面で［OK］ボタンをクリックする

方法２－(FN)＋(F5)キーを使う

(FN)＋(F5)キーを押して、表示装置を切り替えることもできます。

参照 詳細について 『活用ガイド 3 章 5-2- 方法２－(FN)＋(F5)キーを使う』

④ 状況にあわせて画質を調整する

本製品には、HD DVD ビデオディスクの映像を再生するときに高画質化処理を行う機能（QosmioEngine）が搭載されています。

1 高画質化処理

「InterVideo WinDVD HD」を使用して、HD DVD ビデオディスクを再生しているとき、自動的に高画質化処理が行われます。切り替えの操作は必要ありません。

お願い

- 「InterVideo WinDVD HD」を使用して映像を再生しているとき、字幕などの文字情報が粗く表示される場合があります。
- 「InterVideo WinDVD HD」を使用して映像を再生しているとき、再生しているデータにノイズがある場合は、強調して表示されます。

表示の対応

高画質化処理を行った表示は、本体液晶ディスプレイのみ対応しています。パソコン本体にテレビを接続して表示している場合、テレビは高画質化処理を行わない通常表示です。映像再生中の表示は次のような対応です。

◎：高画質化処理を行った表示　○：高画質化処理を行わない通常表示　×：表示しない

	WinDVD HD 使用中
本体液晶ディスプレイ	◎
テレビ	○
外部ディスプレイ	×
同時表示	×

4

Q&A集

CD／DVD／HD DVD

＊『活用ガイド 6章 4 Q&A集 CD／DVD』を、次の内容に読み換えてください。

Q CD／DVD／HD DVDにアクセスできない

A ディスクトレイがきちんとしまっていない場合は、カチッと音がするまで押し込んでください。

参照 CD／DVD／HD DVDのセット「2-⑤ CD／DVD／HD DVDを使うとき（セット）」

A CD／DVD／HD DVDがきちんとセットされていない場合は、ラベルの面を上にして、水平にセットしてください。

A ディスクトレイ内に異物がある場合は、取り除いてください。

何かはさまっていると、故障の原因になります。

A CD／DVD／HD DVDが汚れている場合は、乾燥した清潔な布でふいてください。

それでも汚れが落ちなければ、水または中性洗剤で湿らせた布でふき取ってください。

参照 CD／DVD／HD DVDの手入れ
『セットアップガイド 6章 3 日常の取り扱いとお手入れ』
（HD DVDについてはCD／DVDの説明と同様です）

A CD／DVD／HD DVDを認識していない可能性があります。

メディアアクセスLED、ディスクトレイLEDが点滅している間は、まだ認識されていません。
消灯するまで待って、もう1度アクセスしてください。

Q メディアアクセスLED、ディスクトレイLEDが消えない

A 大量のデータを処理しているときは、時間がかかります。

LEDが消えるまで待ってください。
どうしても消えないときは作業を中断し、(CTRL)＋(ALT)＋(DEL)キーを押して再起動してください。
この場合、保存されていないデータは消失します。

参照 再起動の方法
『活用ガイド 6章 4 Q&A集 キーボード-
Q どのキーを押しても反応しない
設定はあっているが、希望の文字が入力できない』

再起動できない場合は、電源スイッチを5秒以上押し、電源を切ってから、もう1度電源を入れてください。この場合、保存されていないデータは消失します。
再起動後、同じ操作を行っても、LEDが消えない場合は、電源を切り、保守サービスに連絡してください。

Q CD／DVD／HD DVDが取り出せない

（リモコンの［取り出し］ボタンを押して、CD／DVD／HD DVDを取り出す場合）

A リモコンが正しく操作できる環境になっていない場合は、リモコンの［取り出し］ボタンを押しても、CD／DVD／HD DVDは出てきません。

①リモコンが無効に設定されていたり、リモコンの電池が消耗している可能性があります。リモコンが正しく操作できるように調整してください。

参照 リモコン操作ができない
『オーディオ＆ビジュアルガイド 17 Q&A集』

②パソコンが次の状態になっていることを確認し、［取り出し］ボタンを押してください。

- Windows動作中
- QosmioPlayer動作中
- 電源が入っていない状態
- 休止状態

（パソコン本体のイジェクトボタンを押して、CD／DVD／HD DVDを取り出す場合）

A パソコン本体の電源が入っていないと、イジェクトボタンを押してもCD／DVD／HD DVDは出てきません。

電源を入れてから、イジェクトボタンを押してください。

参照 CD／DVD／HD DVDの取り出し「2-⑥ CD／DVD／HD DVDを使い終わったとき（取り出し）」

A パソコン本体の電源が入っている場合は、［マイコンピュータ］を開き、CD ／ DVD ／ HD DVD が入っているドライブのアイコンを右クリックして、表示されるメニューの中の「取り出し」をクリックしてください。

A 上記の操作でも取り出せない場合は、CD ／ DVD ／ HD DVD を使用しているアプリケーションをすべて終了してください。

終了後、イジェクトボタンを押してください。

A CD ／ DVD ／ HD DVD を使用しているアプリケーションをすべて終了していても、CD ／ DVD ／ HD DVD が取り出せない場合は、パソコンを再起動してください。

再起動後、イジェクトボタンを押してください。
以上の手順でも解決できない場合は、保守サービスに依頼してください。

Q パソコン本体の電源が入らないため、CD ／ DVD ／ HD DVD が取り出せない

A ドライブのイジェクトホールを先の細い丈夫なもので押してください。

イジェクトホールは、折れにくいもの（例えばクリップを伸ばしたものなど）で押してください。折れた破片がパソコン内部に入ると、故障の原因になります。電源が入らないとき以外はこの処置をしないでください。特に、パソコンの動作中は絶対にしないでください。

参照 イジェクトホール 「2-⑥ CD ／ DVD ／ HD DVD を使い終わったとき（取り出し）」

Q DVD-Videoをドライブにセットしたときに、再生するアプリケーションを選択する画面が表示されない

A 次の手順で設定を変更してください。

①［マイコンピュータ］で DVD をセットしているドライブのアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックする
②［自動再生］タブで「DVD ムービー」を選択し、［動作］で［動作を毎回選択する］をチェックする
③［OK］ボタンをクリックする

参照 DVD-Video の再生について
『オーディオ ＆ ビジュアルガイド 12 DVD の映画や映像を観る』

5

技術基準適合について

FCC information

Product name : Qosmio G30
Model number : PQG31*

FCC notice "Declaration of Conformity Information"

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, it may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- ❑ Reorient or relocate the receiving antenna.
- ❑ Increase the separation between the equipment and receiver.
- ❑ Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- ❑ Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

WARNING : *Only peripherals complying with the FCC rules class B limits may be attached to this equipment. Operation with non-compliant peripherals or peripherals not recommended by TOSHIBA is likely to result in interference to radio and TV reception. Shielded cables must be used between the external devices and the computer's RGB connector, USB connector, i.LINK(IEEE1394) connector and Microphone jack. Changes or modifications made to this equipment, not expressly approved by TOSHIBA or parties authorized by TOSHIBA could void the user's authority to operate the equipment.*

FCC conditions

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may not cause harmful interference.
2. This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Contact

Address : TOSHIBA America Information Systems, Inc.
9740 Irvine Boulevard
Irvine, California 92618-1697
Telephone : (949) 583-3000

TOSHIBA

EU Declaration of Conformity

TOSHIBA declares, that the product: PQG31* conforms to the following Standards:

Supplementary Information : "The product complies with the requirements of the Low Voltage Directive 73/23/EEC, the EMC Directive 89/336/EEC and the R&TTE Directive 1999/5/EEC."

This product is carrying the CE-Mark in accordance with the related European Directives. Responsible for CE-Marking is TOSHIBA Europe, Hammfelddamm 8, 41460 Neuss, Germany.

TOSHIBA HD DVD-ROM ドライブ TS-L802A
（HD DVD-ROM ドライブ ）
安全にお使いいただくために

本装置を正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。
また、お読みになった後は、必ず保管してください。

⚠注 意

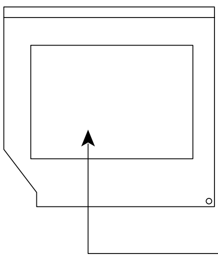
1. 本装置はレーザーシステムを使用しています。
   本装置の定格銘板には、右記の表示がされています。
   本装置はヨーロッパ共通のレーザ規格EN60825で“クラス1レーザー機器”に分類されています。レーザー光を直接被爆することを防ぐために、この装置の筐体を開けないでください。

CLASS 1 LASER PRODUCT
APPAREIL À LASER DE CLASSE 1
LASER KLASSE 1 PRODUKT
TO EN 60825-1
クラス 1 レーザー製品
TO EN 60825-1:1994 / A2:2001

2. 分解および改造をしないでください。感電の原因になります。
   信頼性、安全性、性能の保証をすることができなくなります。
3. 本装置はある確率で読み取り誤りをおこすことがあります。従って、本装置を使用するシステムには、これらの誤りや故障に起因する二次的な損失、障害および事故を防止するために、安全性や保全性に関する十分な配慮が必要です。本装置の故障、取り出されたデータの誤りによって、人体への危害や物質的損害を誘発する可能性があるシステムには、本装置を使用しないでください。
4. ご使用のディスクが損傷を受けても保証はいたしません。
5. ご使用中に異常が生じた場合は、電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。

DANGER -VISIBLE AND INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. AVOID EXPOSURE TO BEAM. (for 21 CFR)
CAUTION -CLASS 3B VISIBLE AND INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. AVOID EXPOSURE TO THE BEAM.
ATTENTION -LASER DE CLASSE 3B RAYONNEMENT VISIBLE ET INVISIBLE, EN CAS D'OUVERTURE. EXPOSITION DANGEREUSE DE L'OEIL OU DE LA PEAU RAYONNEMENT DIRECT OU DIFFUS.
VORSICHT -SICHTBARE UND UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG KLASSE 3B, WENN ABDECKUNG GEÖFFNET. NICHT DEM STRAHL AUSSETZEN.
ADVARSEL -KLASSE 3B SYNLIG OG USYNLIG LASERSTRÅLING VED ÅBNING. UNDGÅ UDSÆTTELSE FOR STRÅLING
ADVARSEL -KLASSE 3B SYNLIG OG USYNLIG LASERSTRÅLING NÅR DEKSEL ÅPNES. UNNGÅ EKSPONERING FOR STRÅLEN.
VARO! -LUOKAN 3B NÄKYVÄÄ JA NÄKYMÄTÖN AVATTAESSA OLET ALTTIINA LASERSÄTEILYLLE. ÄLÄ KATSO SÄTEESEEN.
VARNING -SYNLIG OCH OSYNLIG KLASSE 3B LASERSTRÅLNING NÄR DENNA DEL ÄR ÖPPNAD. STRÅLE ÄR FARLIG.
注意 -打开时有3B等級的可见及不可见激光辐射。避免激光束照射。
注意 -ここを開くとクラス3B可視レーザー光及び不可視レーザー光が出ます。ビームに身をさらさないこと。

Location of the required label



PRODUCT IS CERTIFIED BY THE
MANUFACTURER TO COMPLY
WITH DHHS RULES 21 CFR
SUBCHAPTER J APPLICABLE AT
THE DATE OF MANUFACTURE.
MANUFACTURED:

TOSHIBA CORPORATION
1-1-1, SHIBAURA, MINATO-KU,
TOKYO 105-8001, JAPAN